

第55回 日本子どもの本研究会全国大会

未来をひらく子どもと本
— 希望はめぐる 本から人へ 人から人へ —

記念講演 7月29日(土)

(手話通訳つき)

想像力の使い道 —むこう側にいる人たちへ

原田 勝 (はらだ まさる) 翻訳家

1957年神奈川県生まれ。東京外国語大学卒。機械メーカー勤務のち、英語圏の児童文学・ヤングアダルト文学の翻訳に携わる。訳書に、読み物では『弟の戦争』『二つの旅の終わりに』(徳間書店)、『ハーレムの闘う本屋』(あすなろ書房・第5回JBBY賞)、『ペーパーボーイ』(岩波書店)、『兄の名は、ジェシカ』、『キャパとゲルダ』(あすなろ書房)、『チャンス〜はてしない戦争をのがれて〜』(小学館)など。絵本では『星の使者』(徳間書店)、『夜のあいだに』(ゴブリン書房)、『ぼくは川のように話す』(偕成社・第69回産経児童出版文化賞)など多数。

センター棟・カルチャー棟									
7月29日(土)	9:00	10:00	12:00	13:20	15:35	16:05	17:35	19:00	20:30
	受付	講座	昼食・休憩	基調報告 記念講演 手話通訳つき	移動・休憩	読書会	夕食・休憩	夜のつどい	終了

センター棟						
7月30日(日)	9:00	9:30	14:20	14:40	16:00	
	受付	分科会	分科会 昼食・休憩 分科会ごとに	分科会	閉会講演 挨拶	終了

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

期 日 2023年7月29日(土)・30日(日) 募集400名(18歳以上)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町3-1
03-3469-2525
参加費 両日参加4,000円 宿泊費5,700円(夕朝食付き)
1日参加2,500円 障害介助者は参加費無料です。学生参加費は最終ページ参照
主 催 一般社団法人 日本子どもの本研究会
事務所 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4-4-18-105
03-3992-0362
大会についてのお問合せ nkodomozenkoku@gmail.com

後援：東京都教育委員会 神奈川県教育委員会 埼玉県教育委員会 千葉県教育委員会 渋谷区
公益社団法人全国学校図書館協議会 公益社団法人日本図書館協会 公益社団法人読書推進運動協議会
公益財団法人文字・活字文化推進機構 一般社団法人日本国際児童図書評議会 一般社団法人日本児童文学者協会
一般社団法人日本児童文芸家協会 一般財団法人文民教育協会子どもの文化研究所 親子読書地域文庫全国連絡会
学校図書館問題研究会 学校図書館を考える全国連絡会 児童図書館研究会 読書のアニメーション研究会
図書館問題研究会 日本親子読書センター 日本文学教育連盟

基調報告 7月29日(土) 13:20～13:55

子どもは、人と関わりながら本を好きになっていく
代田知子 (一般社団法人日本子どもの本研究会会長)

講座 7月29日(土) 10:00～12:00

- A** **子どもの読書環境** **子どもと本と図書館をつないで60年** 浅川玲子 (NPO 法人山梨子ども図書館 顧問)
浅川氏は、山梨県立図書館で司書として仕事をするとともに、地域で山梨子どもの本研究会、文庫連絡会、NPO 法人山梨子ども図書館などを立ち上げてきた。お話を聞いて、子どもの読書環境について考えたい。
- B** **ブックトーク** **実践！小学生、中学生に向けたブックトーク** 穴井美紀 (千葉県市川市立鶴指小学校司書) 西村めぐみ (埼玉県三芳町立図書館司書)
小学校と公共図書館でのブックトーク活動を紹介する。それぞれの場で求められるブックトークの役割と特色に着目し、ブックトークの効果について話し合う場にしたい。
- C** **ブックウェビング** **長谷川義史を読む ―ブックウェビングの手法を通して―** 講師 池田茂都枝 (元大学非常勤講師) 発表者 滝脇れい子 小池淑子
『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』の絵本の持つ世界観は、広く深い。時間と空間を超えてという視点で、二人の発表者がそれぞれ読み解く。
参考資料：『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』(BL 出版)
- D** **読書のアニメーション** **マンガでアニメーション【大人対象の読書のアニメーション】(定員60名)** 笹島朋美 (読書のアニメーション研究会事務局長・東京都公立小学校教諭)
ファンは多いが、なぜか学校や図書館ではあまり歓迎されないところもあるマンガ。日本のマンガの歴史や多様な作品を知り、その魅力や価値をグループで活動しながら学ぶワークショップ。
- E** **知識読み物を手渡す** **知識読み物の選び方、手渡し方 ～その実践と工夫～** 講師：福岡淳子 実践発表：塚田麻泉・村田直美・大森恵子
実践研究を通じて得た基本的な考え方を、具体例をあげて説明する。評価での悩みや、小学校の実践で見られた子どもの姿も紹介する。参考資料：『学校司書おすすめ！小学校学年別知識読みもの240』福岡淳子・金澤磨樹子編 (少年写真新聞社)

読書会 7月29日(土) 16:05～17:35

読書会に参加される方は、活発な交流のため、取り上げる本を事前に読んでご参加ください。

- a** **絵本** 『レイチェル・カーソン物語 ―なぜ鳥は、なかなくなつたの？』 ステファニー・ロス・シソン 文・絵 おおつかのりこ 訳 西村書店
- b** **児童文学 (中学年)** 『おもちゃ屋のねこ』 リング・ニューベリー作 田中薫子訳 くらはしれい絵 徳間書店
- c** **児童文学 (高学年から)** 『ドリトル先生ガラパゴスを救う 新ドリトル先生物語』 福岡伸一 著 朝日新聞出版
- d** **ノンフィクション** 『ももちゃんのピアノ 沖縄戦・ひめゆり学徒の物語』 柴田昌平 文 阿部結 絵 ポプラ社
- e** **ヤングアダルト** 『ペーパーボーイ』・『コピーボーイ』 ヴィンス・ヴォーター作 原田勝 訳 岩波書店 (定員 25 名)
- f** **子どもの本棚** 日本子どもの本研究会月刊書評誌 『子どもの本棚』を読む

夜のつどい 7月29日(土) 19:00～20:30

- 11** 全国ここでこんな活動
それぞれの地域の活動を語り合っ
て、楽しく交流しましょう！
- 12** 平和を語る
今こそ、平和の本を持ち寄り、
できることを語り合ひましょう。
- 13** 科学遊び
いろんな磁石を使って作り、不思議な
動きを楽しみましょう。
- 14** 障害とバリアフリー
語り合いたい、いろいろな一人
一人のこと、私のこと。

展示発表

(会員・友誼団体)
小ホール 29日 10時から 16時
101室 7月29日 10時から
7月30日 16時

1

絵本

3歳だからこそ出会う欲しい、豊かな幼児絵本 (定員40名)

杉山喜美恵 (東海学院大学短期大学部 教授) 宮本由佳理 (JPIC 読書アドバイザー)

3歳は成長の上で、大きな節目といわれる時期。絵本でもストーリー展開が分かるようになり、物語の世界に入り込めるようになってくる。話題提供を受け、この時期の子どもたちや絵本について学び合う。後半は、お薦めの絵本を1冊持ち寄り、交流する。

2

小学生と
読書

読書活動を通して本とことばの世界を広げる 前川律子 (東京都公立小学校 教諭)

学校司書とタグをくんで本と子どもをつなぐ 小野秀子 (栃木県宇都宮市公立小学校 教諭)

1年生の授業でことばがあまりに出ないことに驚き、読み聞かせや読書の大切さを痛感。大人も巻き込んだ楽しい読書活動の取り組みを報告。また、学校司書と協働して読書活動を進める授業実践を報告する。二つの話題提供を受け、今できることを交流したい。

3

中高生の
読書

知的好奇心とノンフィクション ノンフィクションの魅力

小澤恭子 (ノンフィクション研究部会代表)

山本慎一 (岩波ジュニア新書&岩波ジュニアスタートブックス編集)

岩井路加 (沖縄県立芸術大学 学生) 小柳望未・金 志帆・田口瑛美莉 (高校生) 新津保万莉子・須藤 零 (中学生)

中高生が自ずと手に取ることの多いフィクションばかりではなく、中高生のための「入門編から選り抜きまで」のノンフィクションを知り、また、YA世代からノンフィクションの読み方を聞くことにより、中高生とノンフィクションの読書について、共に考えを深めたい。

4

特別支援の
読書

障害の重い子の授業での「読み」と図書室活用 松井雄一 (東京都立北特別支援学校 主任教諭)

どの子どもみんな本が好き—肢体不自由教育の読書活動

小野寺千秋 (東京都立墨東特別支援学校 図書館支援員・おはなしの会うさぎ)

特別支援学校のなかで、とくに困難を抱える子どもたちにも届く本と読書に向けた動きがある。選書や、一人ひとりに合わせた読み聞かせの工夫。異なる立場の実践者を迎え、子どもと本をつなぐ取り組みや教員との連携、日々の積み重ねを参加者とも共有したい。

5

科学

学校の木により親しみ、楽しみながら活用を考える

高柳芳恵 (科学読物研究会会員)

『ふしぎいっぱい!学校の木』の著者、高柳芳恵さんのお話とあそびと実験を楽しむ。参加者とともに、身近な学校の木について知り、子どもたちと楽しく活用する方法を話し合う。長年、動植物の生態を研究・観察してきた高柳さんの著書と、科学の新刊などを紹介する。

6

学校図書館
・探究的な学び

未来につなぐために今できること

朝倉麻樹 (神奈川県横浜市立小学校 学校司書)

小野朋美 (神奈川県川崎市立小学校 学校司書)

学校図書館の整備と活用には様々な段階がある。話題提供者の実践を通して、自校はどの段階にあるのか、豊かな読書と深い学びを支えるために何をを目指すのかを考える。未来につなぐ一歩として「今何ができるのか」を共に学び深めたい。

人と人がつながりあう地域の読書活動をめざして

近藤真奈美（東京都大田区 NPO 法人読み聞かせネットワークヒッポ）
塩 邦恵（鳥取県鳥取市 子ども文庫Pippi&Lotta）

地域の読書ボランティア育成、子ども食堂連携、ドライブスルー貸出など工夫を重ね文庫活動を実践されているお二人の報告を伺う。本を通して地域の子どもの大人が交流し合う読書活動の進め方について、参加者からの意見や報告も交えて共に考えを深めたい。

子どもたちの未来のために何ができるか 本の力を信じて

作家の立場から 中澤晶子（子どもの本作家） 出版社の立場から 水越里香（福音館書店）

今夏、『ワタシゴト 14歳のひろしま』（汐文社）の3作目を上梓される中澤晶子さんと、昨年、作品賞を受賞した『帰れ野生のロボット』他多数の作品を手掛けてこられた編集者水越里香さんから、子どもたちに作品を届ける思いをそれぞれ聞き、ともに考えていきたい。

閉会講演 7月30日（日）14:40～16:00

『クシュラの奇跡』ードロシー・バトラーの本棚が語ることー

百々佑利子（もも ゆりこ）翻訳家、元日本女子大学教授（児童文学研究）、本会会員

《申込み方法と注意事項》

- 申込み期間 2023年6月19日（月）～7月23日（日）
- 申込み方法 できる限り右のQRコードから、または当会ホームページからお申込みください。
日本子どもの本研究会ホームページ <https://www.jasclhonken.com>
- ・学生（社会人学生を除く）は参加費無料ですが、フォームから申込みが必要です。
- ・各催しは先着順の受付です。定員になり次第締め切りとなります。
- 申込確認と参加費の払込みについて
- ・申込み後、自動返信のメールが届きます。メールが届かない場合は下記〈問合せ先〉にご連絡ください。
- ・申込み後、1週間以内に下記のゆうちょ銀行（大会専用）に参加費を払込んでください。
- 払込先 名義 一般社団法人 日本子どもの本研究会
払込人氏名の前に ゼンコクとお付けください。 ゼンコク〇〇〇〇
ゆうちょ銀行から 00150-6-325355
他銀行から ゆうちょ銀行（9900）〇一九（ゼロイチキュウ）店 当座 0325355
- ・参加費払込が確認でき次第、申込み手続き完了のメールをお送りします。1週間待っても完了メールが届かない場合は、下記問合せ先までご連絡ください。
- ・払込票でお申込みの方は10日以内に確認メールにかえて受講ハガキをお送りします。
- ・キャンセルの場合は返金できません。代理受講をお勧めします。宿泊キャンセル（1週間前まで）は返金します。
- 宿泊申込みは7月10日（日）まで。定員になり次第締め切りとなります。（夕食、朝食、昼食の3食付き）
- お問合せ先 ご不明点がありましたらお気軽にお問合せください。

第55回日本子どもの本研究会全国大会実行委員会 nkodomozenkoku@gmail.com 080-6661-7859

この活動では、子どもゆめ基金への報告のため写真撮影を行います。撮影した写真、映像などは広報用にHPや刊行物に掲載することがありますのでご了承ください。なお、子どもゆめ基金へ提出した個人情報・写真は「（独）国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

